

技術部門 放射線課

●職員構成

職員数：12人

診療放射線技師 12人 男7人 女5人

課長：佐藤 邦彦

主任：樋口 和之

●2020年度総括

- ①体制：職員12名（嘱託職員3名）
- ②安全対策：患者の名前を自ら呼称してもらう。
患者間違い無しへの意識付けの徹底
- ③各セクションのまとめ（前年比較）
一般：胸部 増減なし・腹部件数 6.8%増
骨件数 8.3%減、マンモ件数 4.9%増
骨密度 17%減
TV：MDL 8.6%減 注腸 7.5%減
VF 3.0%減、シャント造影 6.8%増
CT：件数 1.9%減
(心臓検査 346件 (16.0%減))
MR：件数 14.2%増
(脳MR 1672件 (7.2%減))
超音波：腹部件数 2.9%減
アンギオ：PCI件数 201件
シャントPTA 108件
コロナ禍もあり全体として減少した

④機器保守管理

- ・高精細モニターのカリブレーション
- ・一般・TV機器の日常点検 ・一般撮影検像確認
- ・CT・MR装置の日常点検実施
- ・CT・MR・アンギオ装置の定期点検実施
- ・アンギオ機械室空調管理
- ・TV装置の定期点検実施
- ・各セクション毎のマニュアル整備

⑤業務改善

- ・造影検査時のeGFRのチェック
30以下は担当医に連絡する
- ・ヨード造影検査時の糖尿病薬服用のチェック
- ・読影のダブルチェック(読影医と担当医)
依頼により新潟画像診断センター、東京遠隔読影へ
- ・MR装置の更新
- ・感染対策の放射線マニュアルの改訂、コロナ対策

⑥接遇目標

- ・「患者さんへの声かけをしましょう」
順路票呼称による撮影部位の間違いを予防し、
患者にリラックスしてもらうことを目的とする。
やわらかい口調を心がける

●2021年度方針

- ①体制：12名
(嘱託職員2名, 臨時職員1人)
- ②超音波検査体制の強化（途中入職者の研修）
- ③心カテ体制の強化（途中入職者の研修）
- ④研修マニュアルの改定
- ⑤院内医療放射線安全管理、医療安全、機器管理の改定・更新
- ⑥全員で取り組む平和・社会保障活動
- ⑦技師読影能力の向上
・消化器読影検討会への参加
- ⑧新潟市内各診療所への支援
- ⑨定期的な学習会の開催

2020年1月～12月件数

| | 2020年 |
|-------|-------|
| 一般合計 | 23042 |
| TV合計 | 1198 |
| CT合計 | 6031 |
| MRI合計 | 2756 |
| US合計 | 5916 |
| PCI合計 | 201 |

